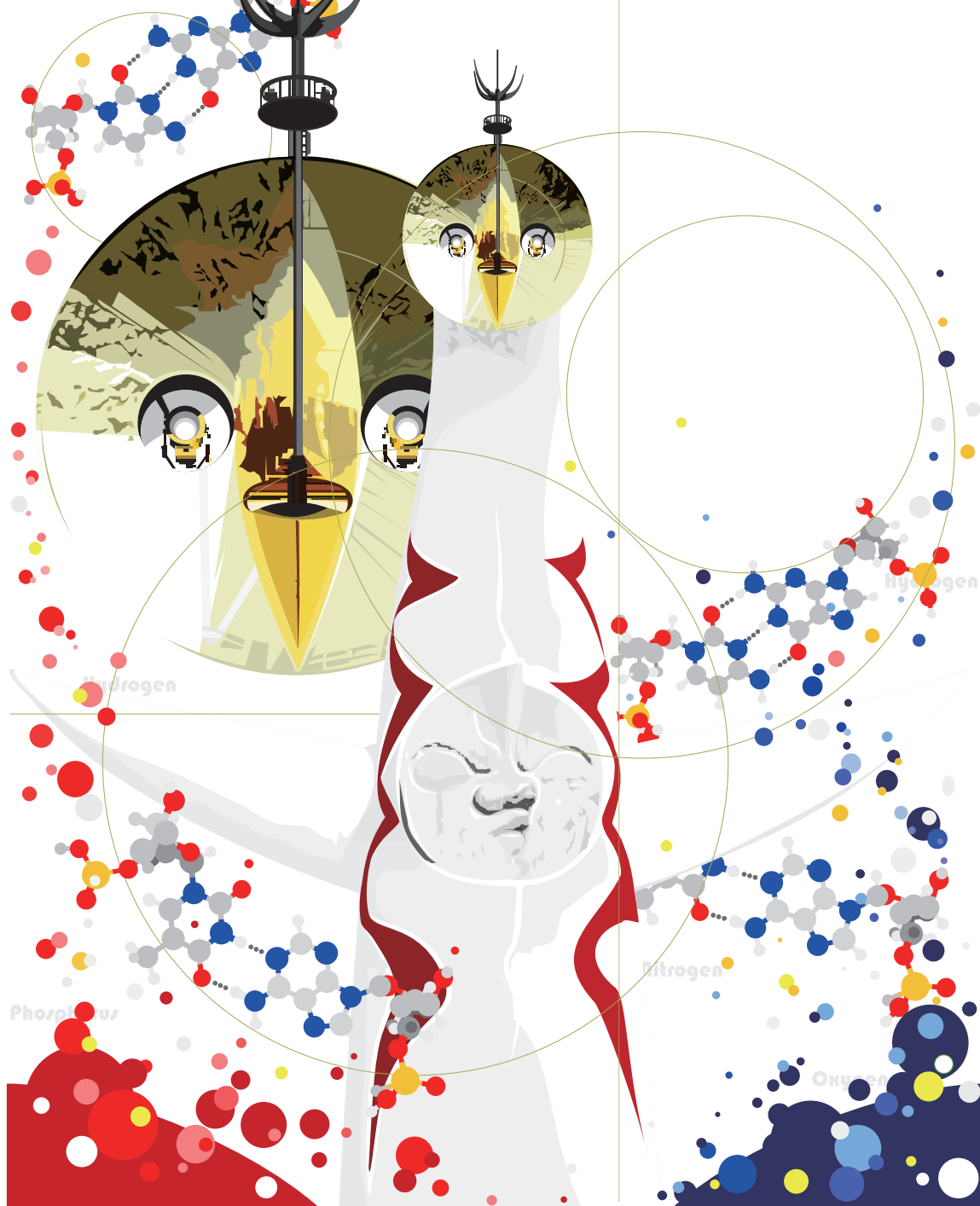


Le Monde de Keishin

「夢は未来を創る原動力」



CONTENTS

- P. 2 22期生へのメッセージ
P. 3 中高一貫 6年間の道程～夢に向かって～
P. 4 時の人：2024年度GLP発表
P. 5 特集：図書館活動～夢の始まりは一冊の本にあり？～
P. 6・7 特集：慶進生の夢～夢は未来を創る原動力～

- P. 8・9 進学羅針盤
P. 10・11 同窓生～16期生の慶進～
P. 12 La Photo de Keishin
お知らせ・大学合格実績
小さな本箱



夢と学校生活

令和7年2月1日、令和7年度慶進中学校生徒会長選挙が行われ、20期生の木村 瑠那さん(中3)が生徒会長に選出されました。新生徒会長が慶進生の生活について、新たに慶進の制服に袖を通す22期生へメッセージを送ります。

22期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから、夢を見つけてそれを実現するために努力したり、素敵な学校生活を送ったりすると思います。

私の夢は国公立大学に入学することです。そのために今頑張っていることを、これからみなさんに伝えようと思います。私は今のみなさんくらいの時に国公立大学に行きたいと考えているようになりまして。最初はなんとなく思っていたことですが、友達と話したり両親に想いを伝えたりすることによって、より強くはつきりこの夢を叶えたいと思うようになりました。そして今頑張っていることは、毎日充実させることです。大学受験までまだあと数年あるので、今、直接合格に繋がることは限られていると思います。しかし、それでも何か出来ることはないかと考えています。そして、毎日無駄な時間を極力減らし、夢を叶えるための準備の時間にしようと思つてい

生徒会長 20期生

木村 瑠那(中3)



ます。
みなさんが慶進中学校の
中や卒業してから叶えたい
夢はなんですか？

きっとさまざまだと思います。
慶進中学校は良い所
がたくさんあるので、たく
さんの夢を見つけれらるで
しょう。そしてみなさんが
夢を見つけた時、今ある夢
を叶えるために頑張りたい
と思った時に、今から紹介
する私が夢を叶えるため、
学校生活をより豊かにする
ために頑張っていることを
思い出してくれたらうれし
いです。

私が頑張っていること
は、やりたい事リストを
作ったり、友達とたくさん
話したり、勉強したりする
ことです。ふと何かをやり
たいと思ってもなんだった
け？となることがよくある
ので少しでも思ったら書き
留めるようにしています。
また、学校では小テスト

がある時に友達と問題を出し合ったりします。テスト期間中はスタディールームやゼミナールホールといった学校の自主学習スペースで勉強している人をよく見かけます。私はたまにテスト勉強をしに友達と話すごとが出来る場所で勉強をしています。そういう小さな積み重ねが大きな夢を叶えることにつながり、学校生活を豊かにするのではないかと思います。
慶進中学校で夢を叶えることや、叶えるための準備をすることが出来る機会はいくつもあると思います。
私はみなさんに、今、小さな夢を叶えることで自信をつけ、大きな夢にチャレンジして欲しいと考えています。ぜひ、この慶進中学校でみなさんの素敵な夢を育み、学校生活を実りのあるものにしてください。

22 期生へのメッセージ

中学校1年1組 担任 西山 智彦

国語の魅力

「ことば」は、他者の考えを知り、自分自身の考えを深め、他者へ自分を伝えるための大切なものです。中学校・高校の6年間でその力を最大限に伸ばし、高めていきましょう。

いよいよ中学校・高校の6年間でスタートします。「悩み、考え、そして一歩、先へ」。慶進生活を全力で楽しみ、充実させていこう。

教科：国語



中学校1年2組 担任 田中 健也

理科の魅力

理科(化学・物理・生物・地学)は自然の不思議を解き明かす冒険です。理科の魅力を楽しみましょう！

新しい仲間や学びとの出会いが皆さんを待っています。一緒に成長し、素晴らしい6年間を送りましょう！

教科：理科

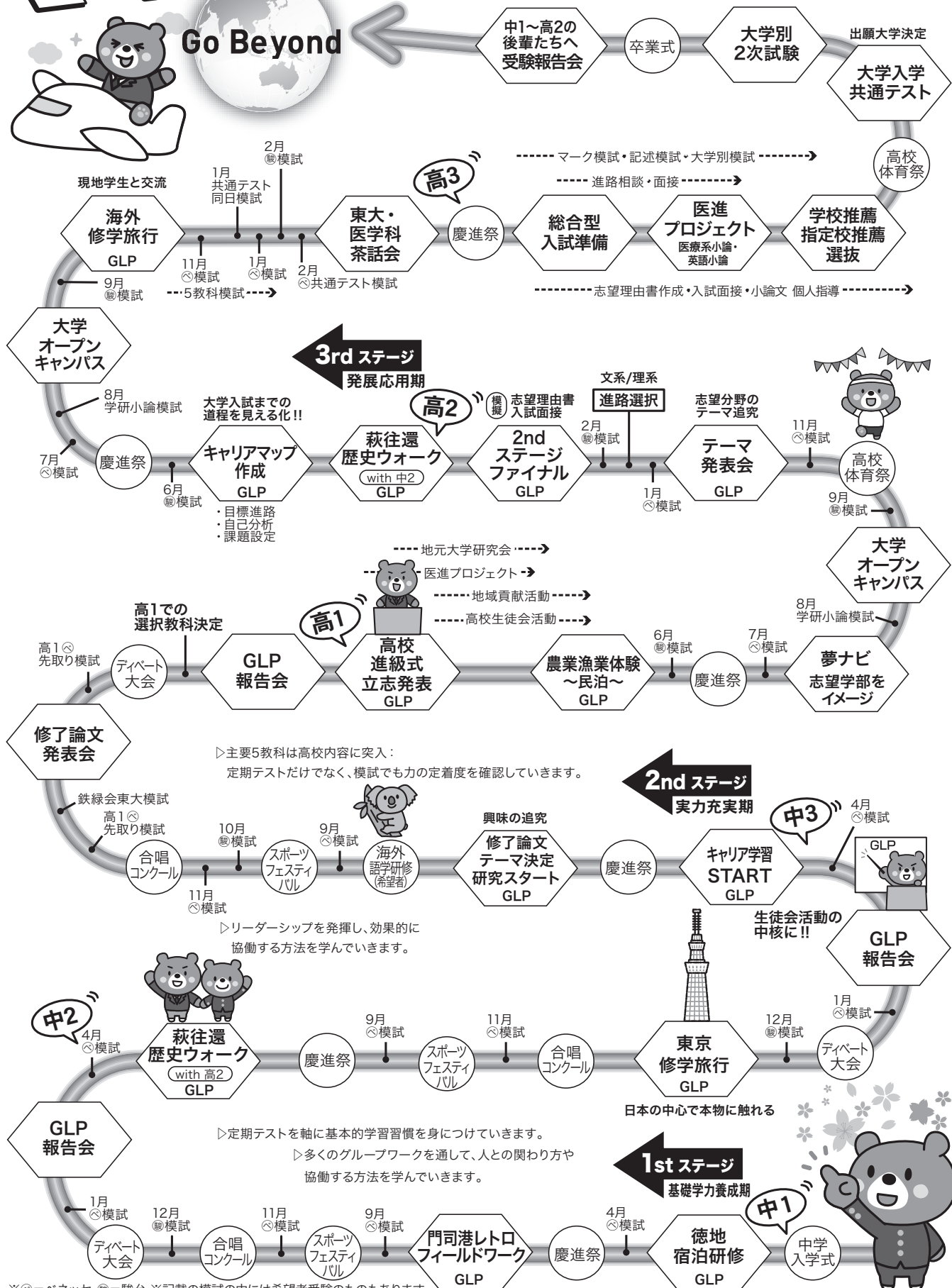


いよいよEXPO 2025 大阪万博が開幕します。テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」。コンセプト「People's Living Lab 未来社会の実験場」。前回の1970年大阪万博では、携帯電話やリニアモーターカーが「人類が夢見た未来のカタチ」として初めて披露されました。さて今年の万博では、一体どんな「我々人類の夢見る未来のカタチ」を垣間見ることが出来るのでしょうか。「夢」は「未来」を「カタチ」にしていく原動力！力強い「慶進生の夢」をテーマに Le Monde de Keishin (慶進の世界)をお届けします。

中高一貫6年の ロードマップ

Go Beyond

6年間中高一貫教育：慶進では生涯にわたって役立つ学力を身につけるために、6年間で2・2・2の3つのステージで構成しています。勉強のおもしろさを知るところから始まり、生徒たちが主体的に学習に取り組み、GLPや地域貢献活動など、学内外の様々な体験活動を通して、「豊かな人間性」と「ともに生きる力」を育み、次世代のリーダーとなる人材を育てます。



※◎＝ベネッセ ◎＝駿台 ※記載の模試の中には希望者受験のものもあります。

時の人

令和6年度も、「将来の夢に向けて」、また、「夢を描き始めるために」、全ての慶進生がGLP活動(下段参照)に熱く真摯に取り組みました。この「時の人」コーナーでは、それぞれの学年で行ったGLP発表の中から、中3「修了論文発表」と、高1「テーマ発表」の優秀発表をご紹介します。

修了論文・金賞「日本における貧困率と幸福度の低さの関係」

幸福度の低さの関係



▲金賞 隅田 誠人さん

私は「日本における貧困率と幸福度の低さの関係」という題で修了論文を作成しました。この内容について調べようとした理由は、もともとこのような経済や哲学的なところに興味があったこともあるのですが、昨年度の中学校のディベート大会で「救急車を有料化すべきか」という論議の中で、否定側によく見られたデーターの日本は貧困層が増加しているという事が印象的であり、深刻な問題に感じたことです。そこからさまざまな面に派生して調べていき、幸福度というものに辿り着きました。

今回のGLP発表で自分に自信がついたので、今後にも活かしていきたいと思っています。

19期生 隅田 誠人(高1)

私が今回の修了論文の作成、発表の中で気をつけたことを2点紹介します。一点目は、「自己紹介後の数秒間」です。これはYoutubeのショート動画などにも当てはまる内容なのですが、何も知らない相手の話を興味を持って聞けるのは約2秒程度と言われています。それ以上は基本的に内容はほとんどは入ってきません。そのため、紹介後にすぐ「あなたは今幸せですか?」というインパクトの強いセリフを出すことによって聞き手の興味を惹けるようにしました。二点目は、「聞き手も参加できる発表」です。聞き手が無条件に話を聞き続けられるのには限界があります。そのため、相手側が発信を行う状態を作るべきと考えました。そこで私が「はい」「いいえ」で答えられるよう

修了論文

慶進のGLPでは、2ndステージ(中3・高1)を通して、大学での学びを意識し、自分の興味を学問分野のレベルへと広げていき、知識を蓄積していくことや考察することを楽しみます。中3では修了論文を執筆し、冬に全員が自分の論文をもとにプレゼンテーションを行います。そこでの相互投票により選抜された10名が、3月のGLP報告会で、全中学校在生に向けて再度プレゼン発表を行います。そして全校生徒の投票により金賞・銀賞・銅賞が選ばれました。

2024年度 修了論文

金賞 隅田 誠人「日本における貧困率と幸福度の低さの関係」

銀賞 浦 信一郎「競馬の認知度を上げるために」

銅賞 田中 優香「サンリオの経済効果について」

テーマ発表会

「脳が退屈しない日課を作る」

この行事では、普段関わる機会が少ない人とも班になることで日頃関わりがない人の新たな一面に気付いたり、「そんな考え方があるんだ」と自分一人では考えられないような意見に出会えたりします。

私たちは医学というテーマを選択し「脳が退屈しない日課を作る」というタイトルのもと発表を行いました。実は私たちの班はみんな関心のある学術系統がバラバラでこのテーマに決めるまでも苦労をしました。まずは、みんなに共通していた医学のテーマとして「聴覚」次に班員の1人が書いていた教育のテーマから「日課」、最後に、話し合った結果出てきた「普段から考えられそうなこと」これらをまとめて先生達の声の波形を出して、そこから自分たちで「から日課表を作る」と方針を決めました。

そこで私達は、20人近くの先生の声を録音して波形を出し、特徴を発見しました。声の波形が一定で滑らかな高低差が激しくなりやすく、声の波形の低いところが多いです。私達の班の中でも声が高い人と声が通るやすい人の2通りに分けられました。これと人間のメカニズムとして眠くなる時間帯を調べ、眠くなりやすい時間帯には声がはつきりしている先生の授業を入れることで日課表が完成しました。

この研究から声が低い人でも声はつきり出せるようになる方法も発見できました。それは、上に発声するように地声より少し高く出すことを意識するという方法です。私はこの研究以降、人と話す時はこのことを意

識して話すようにしています。

もしGLPが無かったら、関心のある系統もバラバラで普段話さずのことのない班員達と今後関わりが薄かったかもしれない。また、協力してくださった先生方のももずつと何も知らないまま過ごしていくことになっただろう。大学に向けて進路に関する知識や意見を持てることに加えて、人との関わりを増やせたり、色々な人の前で自分の意見を言ったり、沢山の意見を一つにまとめることができると思っています。そんな中で大学受験の準備を本格的に始める前に、自身の興味のある学問について調べてまとめる能力を身につけていくことができれば、よりいい進路を考えられるようになるはずです。

18期生 橋本 季和(高2)



▶右から
宮近 光さん・西川 直人さん・
橋本 季和さん・大井 結月さん(高2)

グローバル・リーダーズ・プログラム (GLP)

慶進中学校・高等学校では、中高一貫6年間で次世代のリーダーを育てるべく、GLPを展開しています。GLPを通して、生徒が志を立て、確かな学力を備え、高い人間力を養い、社会で活躍することをめざしています。持ち得る知識を活用して、興味関心を高め、主体的に問題意識をもって行動できるように促す狙いがあります。日本国内はもとより国際社会で通用する能力を備えた人材となるよう、教師陣が強力な支援をしています。

テーマ発表会

高校1年生のGLPの取組。同じ学問分野に関心のある3~4名のグループでテーマを決定します。問題を発見し、考察します。そして、中学校3年生・アドバンスコース1年生に各グループがプレゼンテーションを行います。

特集:夢の始まりは、一冊の本にあり?

みなさんには、自分の人生に大きな影響を与えた本はありますか。

慶進の図書館は、本との出会いを大切にして、さまざまな活動を行っています。

ぜひ気軽に図書室に遊びに来てください。



◇ビブリオバトル◇

ビブリオバトルは、本の紹介を複数名が行い、その中で一番読みたいと思った本を決める「書評合戦」です。「人を通して本を知る。本を通して人を知る」を合言葉に図書館でも積極的に取り組んでいます。令和5年度は放課後の時間に、委員会を中心に行っていましたが、令和6年度はなるべく多くの人にビブリオバトルを楽しんでもらうために、授業の中で行いました。本との新たな出会いがもたらされたり、同級生の新たな一面が知れたり…と楽しい時間になっています。また、チャンプ本に選ばれた本は、購入するようにしています。



◇選書会◇

夏休みから2学期の始めに選書会を実施しました。さまざまなジャンルの本を用意して、その中から投票により上位になったものを購入して図書館に配架しています。なるべく慶進生、慶進の先生たちが希望する図書が配架できるように取り組んでいます。



◇委員会活動◇

図書委員（高校）、広報・図書委員（中学校）でさまざまな取組をしています。慶進の先生のおすすめ本についてのインタビューを行い、記事を作成、特設コーナーを設置したり、令和6年度の慶進祭では本の帯を作成したりしました。さまざまな本に触れるきっかけ作りを委員会活動を通して行っています。

La Classe de Keishin

慶進の図書館のこれまでとこれから

本には不思議な力がある、そう僕は思っています。自分一人では経験できないことに限りがあります。自分が今生きている「時」、自分が住んでいる「場所」の中でしか経験をすることはできません。しかし、本を通して、昔の「時」を生きた人の考え方や価値観が語られていたり、例えば中国やアメリカに住む人の生き方などを知ったりすることが出来ます。本を通して時間・空間を超えて自分の世界を広げることが出来るのです。僕自身も大学時代に、沢木幸太郎さんの『深夜特急』を読み、沢木さんの壮大な旅をまるで自分も隣で一緒に経験しているような気持ちになったのをよく覚えています。

僕が慶進の図書館の担当になって3年が経ちましたが、この3年間、ビブリオバトルや読書会などに取り組んできました。どのイベントも実施する前は、「生徒たちが楽しんでくれるだろうか」と心配になるのですが、実際に参加してくれた人は朗らかな表情で楽しそうに取り組んでくれます。これも本の力なのだろうと思っています。これからも継続してイベントを行っていきまますので、ぜひ楽しみにしてください。

これから慶進の図書館は、探究活動をサポートできる空間づくりにも取り組んでいきたいと思っています。そのための選書や図書室の本の配置などをこれから検討していくつもりです。慶進生の皆さんの意見も取り入れながら、図書室が慶進生にとってよりよい空間となるように取り組んでいきますので、ぜひ皆さんで図書室を創っていきましょう。その先に僕の「夢の始まり」もあるのです。

特集：夢は未来を創る原動力

新しい価値を創り出し
Well-beingな社会を実現する

Go Beyond

その始まりは…

慶進生の夢!



在校生の夢を
Q. 夢の職業は?

教師か サラリーマン

人の夢を叶えられるような教師になりたい。サラリーマンなら、家族や身の周りの人を幸せにできるような仕事がしたい。だから、今よりもっといいコミュニケーション力を身につけたい。(高1)

研究者

農学であれば日本農学賞、生理学や物理学であればノーベル賞を受賞できるような研究をしたい。なので、日本で一番素晴らしい研究環境を持つ東京大学に進学するために、受験勉強をがんばっています。(高3)

1級建築士

まずは、お客さん一人ひとりのニーズに寄り添った設計ができる建築士になりたい。そしてその技術を生かして、海外支援活動にも貢献したい。海外でも通用するような英語力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけるために、色々なことに積極的に取り組みます!(高1)

中高一貫6年間のGLP探究活動や、キャリア学習、進路相談を通じて、自分の興味や可能性を強く意識していきます。漠然とした夢の「力強さ」は、リアルな形でそれを追究し実現していく原動力になっています。

医師

正しい知識と誠実さを身につけた医師として、生まれた土地の地域医療に貢献したい。だから、今はとにかく、医学科進学に向けて勉強を頑張っています!(高2)

エンジニア

デバイスやソフトウェアを自由自在に変えられるような技術を習得し、AIや電気機械をさらに進歩させていけるようなエンジニアになりたい。今は、一生孤独にならないくらいたくさんの友達を作ろうとがんばっています!(中3)

国際弁護士

変化する社会で、人種を問わず多くの人を助けられる国際弁護士になりたい。多様化するニーズに対応できる弁護士になり、自分の中にある正義に逆らわず、法律の力で人々を助けたい。(高3)

起業家

大学で経済学を学んで、将来は、色々なビジネスを展開し、自分が生まれた滋賀県や、自分が育った山口県の地域活性化を目標に活動したい。(中2)

化粧品の 研究開発者

敏感肌や肌トラブルを抱える人でも安心して使える化粧品をつくりたい。お化粧品で心が元気になり認知症の進行を抑えられたり、快方に向かったという例を聞いたことがあるので、自分もたくさんの人を笑顔にできる化粧品を開発したい。(中3)

社長

ITでたくさん稼げる起業家になりたい! まず、海外で起業したいので、英語や理数教科を頑張って勉強します。仕事でいい人間関係を築けるよう、色々な人と積極的にコミュニケーションをとるようにしています。(中2)

デベロッパー

デベロッパーになって、持続可能な都市を開発したい。そのために今は、協調性を養い、視野を広げるために、ボランティアやグループ活動に積極的に取り組んでいます。(高2)

外科医

難しい手術を軽々とこなして人々を助けるブラックジャックのような医者になりたい! 授業をしっかり聞いて勉強を頑張ります!(中2)





未来への可能性は無限大!慶進を卒業した先輩が今大学(院)で夢に向かってどんなことをしているのか聞いてみました!!



文系分野

京都芸術大学

映画学科 製作コース 2年

映画製作の美術スタッフとして、撮影セットなどを手掛ける仕事をしたいと考え、この大学を選びました。昨年実際に、短編ドキュメンタリー映画を製作した際には、美術面だけでなく、撮影、録音、企画など様々な役割を兼任し、多角的な視点で、映画製作というものを学びました。自分の専門だけでなく、俳優コースなど、様々な志望の人たちと、一本の映画の完成に向けて情熱を注ぎ合うことができるのは、学んでいく上の大きな魅力です。

国際基督教大学

教養学部 アーツ・サイエンス学科 3年

国家機関で働き、人々の生活の安定した土台形成につながる国の制度づくりをしたいと考えています。政治学や歴史学の授業を通して、日本の政治制度の変遷や世界の様々な地域同士の関係についてなど、将来国づくりをする上で重要な基礎知識を学んでいるところです。政治は何千年も前から行われてきたにも関わらず、最適解が見つかっていないところに、学びを深める面白さがあります。

筑波大学

人文学類 民俗学・文化人類学コース 2年

民俗学は対象の地域に実際に赴いて、その地域の生活を実際に体験するフィールドワークを重視する学問です。初めに理論がありその正誤を検証する他の学問分野と違い、民俗学ではそのような前提を作らずに、個別具体事例をひたすら分析していくことで「生活」や「文化」といった大きな対象を構築する学問で、とても興味深いです。大学では学芸員の資格取得もするつもりです。

山口大学 人文学部 2年

人間の行動経済学や社会心理学について研究したいと思っています。置かれた状況によって常時変わっているはずの人々の考えにある程度の規則性があったり、普遍的な行動の型が当てはまったりするところに興味を惹かれます。将来は公務員になって、人々の暮らしの役に立つ仕事がしたいと考えています。

広島大学大学院

先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻 情報科学プログラム 修士2年

情報セキュリティ関連の研究をしています。災害や障害が起きてサーバーが壊れてもデータを失うことがないようにストレージを作ることが目標です。情報科学自体、PCさえあれば、次々と生まれる新しい技術を自分で試することができる分野なので、情報を追う楽しさがあります。また、「情報科学」という言葉に内包される分野が多く、みんなで1つのものを作る楽しさや、仕組みを知る楽しさも味わえるところが大きな魅力です。

九州大学

医学部 保健学科 2年

人間と切っても切れない関係にあるのが病気です。病気になると身体的だけでなく、精神的にも大きな負担やダメージを負ってしまうので、それを支えることのできる看護師を目指しています。九大では、理系的・論理的に看護学を研究できること、附属病院で最先端の看護を実習できることが大きな魅力です。

東北大学

工学部 建築・社会環境工学科 3年

建築史、構造力学、デザイン、環境学、設計演習など、建築にかかわる幅広い教科を勉強しています。中でも都市計画は、鉄道や人口分布などの現状分析、将来の都市像などに加え、建築を規制する法律も関わっており、最も興味深い学問です。将来は、再開発事業や公共施設の設計・建築に携わりたいです。よりよい公共空間の創造を目指すことで、人々の生活をより豊かにしたいと考えています。

山口大学 医学部 医学科 6年

将来は外科系の科を専攻したいので、今は腹腔鏡のシミュレーターを使った実習や縫合の練習などに積極的に取り組んだり、解剖学をよく復習してから手術の見学に参加するなど努力しています。医学は自然科学的な学問であると同時に、人間を対象とした学問であり、また社会との接点もとても大きな学問であり、それがとても興味深い点です。社会的背景や個々の心理状態など、多様な視点で患者さんを支えられる医師になりたいと思います。

東京大学 農学部 獣医学専修 3年

解剖学実習や、微生物、発生、生理などを学んでいます。生理学では、動物の体が本当によくできていることに感動したり、細菌・ウイルスの授業では、世界で今実際に流行しているものを扱うこともあり興味深いです。獣医師資格も取ることができます。今後は、免疫や薬理学の研究をして、将来は製薬関係の仕事をしたいと考えています。



理系分野

先輩からのメッセージ～慶進のみなさんへ～

皆さんは今、総合的な学習の時間などで将来の夢について考えているところでしょうか。志望する職業や大学を設定し終えてモチベーション高く学習する同級生が周囲にいて、焦る人もいるかもしれません。将来の夢が思いつかない時は、将来の職業というよりは、将来や大学時代をどこで過ごしたいかを考えるのも一つの手です。私の場合「山口からは一旦出てみたい。何なら、一度も行ったことのないところで一人で暮らしてみたい。大学時代に留学できたら最高だな。大学で何か資格が取れたら安心かな。」というふうに、専攻する学科とは別の視点から志望大学を絞った時期がありました。

学びたい学問は大学に入学してから変化することがあります。私もそうです。だから、あまり今のうちから完璧に決めようとしなくても大丈夫です。逆に、周りに流されてみて、一旦決めてしまうのもありだと思います。

理想の大学生活や、将来の生活を軽く思い描きながら、まずは、中学高校生活を、存分に楽しんでください

令和3年度卒業 13期生 黒田 望

中高生時代は、勉強ももちろん大切ですが、勉強以外のことに全力で打ち込んでほしいと思います。部活動や生徒会活動はもちろん、好きなことや趣味に没頭する時間もとても大切です。そうした時間が、将来どんな自分になりたいかを考える手がかりになると思います。

勉強とそれ以外の時間にメリハリをつけて、一度しかない学生生活を、悔いのないように楽しんで頑張ってください!

令和元年度卒業 11期生 夏山 穂乃香



中高一貫コース 16 期生

岩本 一輝 東京大学理科一類合格
小久保 淳 東京大学理科一類合格
湯尻 晃俊 東京大学理科二類合格

今年の『羅針盤』のテーマ、「『夢』について自由に話してください。」とお願いしたところ……

夢は日本の最高峰!



▲左から 岩本 一輝さん・小久保 淳さん・湯尻 晃俊さん

進学羅針盤

- 3 人：（顔を見合わせて）苦笑・・・
- 司 会： ???
- 小久保： 夢は定まっています（笑）
- 岩 本： 僕はやりたいことがいくつかあって、大学で決めようかと。だから最初から決めなくていい東大に行こうと高2で決めました。
- 湯 尻： 僕は研究にも医学にも興味があったけど、高1の時、田中（健）先生に研究の厳しさを延々と語られて、気持ちが揺らぎました（笑）。希望と実際とのギャップがあるんだあ。今は決められないな、と思ってハイレベルな環境でとりあえず学ぼう!だから東大に行こう!と高2の終わりに決めました。
- 小久保： 高校で勉強している内容だけでは、何がしたいか見えてこないよね。だからといって大学の1, 2年で見えてくるかはわからないけど、大学で先輩から話を聞いたりして、決まるかな。僕は優柔不断なんで（笑）
- 岩 本： そういう理由の人多いよね。
- 小久保： 本当にわからんよね～（笑）私立大学を出願したときも、物理か化学かで、どうせ答え出ないし、結局物理選んだ・・・。
- 岩 本： 私立の学部決めるのしんどかった～。早稲田の理工学部の中にも3つあって、何がいいかわからなかった。
- 小久保： さらに15ぐらいに分かれるよ。
- 岩 本： 早稲田（の出願した学部の学校案内）をああとで見返したら、情報分野の色が濃くて・・・東大受かってよかった～。もし早稲田に行っていたらプログラマー?（笑）
- 湯 尻： 僕は政経を選んだ。経済に興味あって、株とかでがっぽり稼ぎたいしね。理系から文転もありかなって。後期は山大の医学部を受ける覚悟はあったよ。理系に進んだのは、生物が好きだから。蛙の解剖とかあるらしいよ。
- 小久保： 僕たちはそれ、別にいい（苦笑）
- 岩 本： 物理とか中学校の時は、正直おもしろくなかったな。誰かが言っていたけど、0から1に行く時が難しくって、それを乗り越えたらおもしろくなるって、その通りかもね。中学校の時は、とにかく暗記とか多くって、高校の授業内容に入ってから、それを使いながら本当の意味で理解できたり、考え始めたり・・・楽しくなった。
- 湯 尻： 「先取り（学習）」は本当によかったよね!全部通してから、もう1回振り返ることができた。
- 3 人： 教科を「俯瞰」できたね。社会全体も「俯瞰」できたらいいよね。習った学問全部を駆使して、こんな問題があるよ、こんな視点からみたら、こんな風に解決できるよ、みたいなの。
- 小久保： でも、最先端の人は特定の分野に特化してるんじゃない?だから、様々な分野の人と協働しないとな。
- 湯 尻： 東大での関係づくりが大切だね。それぞれのスペシャリストがいるから。文系にも友だち作ろっ!改めて、東大でよかった!
- 司 会： こんな人になりたいという理想像はありますか?
- 小久保： 僕は、唯一やってきたことが勉強だから、それを活かしながら成長したい。昔の人たちが学んだことや、生み出した論理的な考え方を大切にしながら、自分のものにして成長したいです。
- 岩 本： 僕は国のためにすばらしいことをしたいです。「あいつが日本を変えた!」と言われ、「慶進高校 有名人」で検索したら「岩本一輝」ってでることが目標!
- 湯 尻： 表現できる人になりたいな。短期留学したとき、他の国の人が自己主張しているそばで、僕は何もしゃべれなかったことが、今ではトラウマになっているぐらい。東大出て、多くを学んでも他者に発信できないと意味ないかな。だから発信しながら生きていきたいです。

《3人の話を聞いた感想》

クラスで互いに疑問を出し合いながら一緒に学び、雑学王の湯尻さんがクイズ形式で問題を出し、それに答える中で新たな発見をしていったことなど、どの教科の勉強も楽しんで取り組んでいたことが伝わってきました。

特に3人が「俯瞰」について語りだした時、とても生き生きとしていたのが印象的でした。疑問を持ち、考え、それをまとめる力を身につけ、さらに抽象的に物事を「俯瞰」する力があるのだと感じました。

令和7年度大学入試では、慶進高等学校から東京大学合格4名という成果ができました。東大に入りたという夢をもって高校生活を過ごし、見事夢の実現を果たした中高一貫コース16期生の3名にインタビューをしました。また、今年度で東京大学大学院修士課程を修了する同10期生の紀村さんに「夢」に関して後輩の皆さんへのメッセージをいただきました。

～東大生との茶話会～



慶進では、毎年「東大生との茶話会」を開催し、慶進を卒業した現役東大生との交流会を開き、東大合格へのアドバイスや中高時代の過ごし方、大学生活など様々なことについてお話を聞いています。

茶話会の内容を少しだけ…

Q. 東大の魅力とは？

進振り（進学選択）が魅力だという意見が多かったです。そして、レベルの高い学生とともに学べること、整った施設設備で研究できることも大きな魅力のようです。

Q. 受験期の勉強時間は？

平日4～5時間、休日10時間くらいが多いようです。ただ、勉強時間を気にしてはダメで、中身が大切であるという意見もありました。

Q. 過去問を解き始めたのはいつ頃？

高3の夏休みという人が多かったです。それを意味あるものにするために、中学校時代や高校1,2年生のときに基礎力を徹底して鍛えよう。

東大茶話会では、その他にも受験の細かな戦略や各教科のオススメ問題集などのアドバイスを受け、後輩たちは良い刺激を受けることができました。

立ち止まらずに考え、行動しつづける

慶進高校中高一貫コース10期生として卒業した紀村樹です。来年度から社会人という人生の節目を迎えるにあたり、僥越ながら少しばかりお話をさせてください。

高校時代に至るまで、私は明確な「夢」を持っていませんでした。周囲には希望の職業や大学などになりたい姿がはっきりとしている同級生がいる中で、私は自分の進むべき道がはっきりしているわけではありませんでした。私は、テニスで全国大会や国体に出てはいたものの、プロ選手やテニスコーチなどテニスを生業として生活していけるとは思っておらず、とにかく最も難易度の高い大学に行っておけば、何かしらの新しい出会いや目標が見つかるのではないかという思いで、東京大学を目指すことにしました。

東京大学に合格後、部活動に励みながら、大学で教育社会学を学びました。ただ、ここでも「教育」や「社会」には興味があるものの、自分のやりたい姿である「夢」は見つかりませんでした。

そして、大学院へ進学する中で、私は「人」という観点から社会をより良くしたいという思いを強くしました。教育は個人の可能性を広げるとともに、社会全体に影響を与える重要なものです。今後はこの分野で得た知見を活かし、幅広い視点から社会に貢献できる仕事に携わりたいと考えています。

また、夢というと、明確で形のあるものを思い浮かべがちですが、それだけが「夢」ではないと思います。何がしたいかを考え、それに向かって動き続けること自体が大切なのではないのでしょうか。たとえ具体的な職業や目標がなくても、興味を持ったことに挑戦し、試行錯誤する中で、きっと自分なりの道が見えてくるはずです。

私は、大学に入ってたくさんの初めてを経験してきました。部活動や一人暮らし、ボランティアやバイトなど、一つ一つ行動してきたからこそ今があると強く感じています。

後輩の皆さんへ。

夢がなくても焦る必要はありません。大切なのは、立ち止まらずに考え、行動し続けることです。その先に、自分だけの「夢」と呼べるものが見つかるかもしれません。そして、それがたとえ小さなものであったとしても、自分にとって意味のあるものであれば、それは立派な「夢」なのではないでしょうか。

皆さんが自分なりの「夢」を見つげられることを切に願っています。



東京大学大学院教育学研究科比較教育社会学コース修士課程修了
紀村 樹さん

SERIES XVI Talking with the schoolmates...

中村 晃大
九州大学農学部

米沢 美来
山口大学共同獣医学部

小林 愛実
慶應義塾大学商学部

永見 綾音
山口大学医学部
医学科



伊藤 未倅
神戸大学医学部
保健学科看護専攻

吉中 あかり
大阪公立大学法学部

渡邊 姫生音
山口大学医学部
保健学科看護専攻

本廣 愛実
山口県立大学看護栄養学部
看護学科

同窓生

令和6年度卒業

16期生の慶進

武道館の前に立つ桜の木は、毎年、新入生を温かく迎えてくれます。そして、ここで過ごす日々を見守り、次のステージへ羽ばたく姿を見送っています。

この春、卒業した16期生。仲間たちと笑い、悩み、成長してきた日々を同じ教室で過ごしました。慶進での6年間を振り返ってみると、入学してすぐにある宿泊研修は絆を深めるために大切な行事でした。多くの新入生は友だちができるか不安を抱えたまま入学式を迎えますが、宿泊研修の活動を通して、その心配はすぐに消えていきました。しかし、中学1年生の3学期、当たり前の学校生活が一変しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大です。オンライン授業が導入され、クラスマッチなどの行事の形式も大きく変わりました。また、ClassroomやFeelnote、Monoxerなどのアプリを活用して、ICT教育が強化されました。その中で誕生したICT lab.は、様々な場面で大きな役割を果たしました。気づけば、コロナ禍で「何ができるか」、「どう楽しむか」を考える姿勢が自然と身についていました。中高一貫コースの魅力は、6年間かけて行事や進路指導、部活動にじっくり取り組めることです。変わらない環境の中で自分と向き合えるため、自身の成長を深く実感することができました。また、この時期は、体だけでなく心も大きく変化します。中学生のときから言われ続けていたことを高校生になってやっと理解できることもありました。そして、先輩との繋がりで。中学生だけでなく、高校生の先輩が活躍する姿を間近でみることができました。さらに、卒業した先輩とも交流し、将来の目標を考えるために大切な機会となりました。

22期生の皆さん、慶進での新しい学校生活が始まります。新しい仲間と共に様々なことに挑戦していきましょう。

16期生担任 田中 健也

Q: 慶進の思い出は?

中村 中三の時に行った下関、萩の修学旅行です。本当だったら関東方面に修学旅行に行くはずだったけど、コロナ禍で行けなくなり、最初がっかりしていたけど、県内の修学旅行もいざ行ってみると、本当に楽しくて、結局大切なのは場所じゃなくて、誰と行くかが大事だったって気づいたので良い思い出です。

小林 毎年の慶進祭です。慶進祭を通じて、クラスメイトとの仲を深められたのが思い出です。

吉中 私はスポーツフェスティバルや体育祭かな。スポーツフェスは、みんなで創り上げていくことが楽しかったし、高校の体育祭ではグローバルコースやアドバンスコースの仲間と一緒に盛り上がったことが楽しかったです。

本廣 農業漁業体験です。民泊は日本版ホームステイ。知

らない人の家庭でお手伝いたり、食事したりして仲良くなって、修学旅行と同じぐらい楽しかった。

Q: 中学校や高校での部活動は自分にとってどんな価値がありましたか。

中村 僕は中学サッカー部でした。サッカー部は挨拶や礼儀に厳しく、中学校時代は反抗期だったこともあり、厳しさに反発する気持ちも少しありました。だけど、成長するにつれて、自分がやりたいことをしつかりやれることは周りの人のおかげなんだとわかってきてから、挨拶や礼儀を持つて、人に感謝を伝えることを教えてくださった顧問の田中先生の思いが分かり、ありがたかったです。

伊藤 中高6年間陸上部でした。陸上はただ走るだけで、きついことは間違いない。だけど「きついことをどう楽しめるか」ということを学び、それは最後受験でも活きました。

た。ぜひ皆さんも陸上部入りましょう(勧誘!)

本廣 私は中高6年間吹奏楽部でした。6年続けられて、一つの楽器を極められるのが嬉しいし、同じ環境で6年間続けられるからこそ、自分の成長につながっていると思います。

Q: 入学してすぐはどんな気持ちで学校生活を送りましたか。

米沢 私は獣医師になるという夢を強く持って入学したのでやる気に満ち溢れて、委員長なども務めました。初めはぎこちなかった仲間とも、宿泊研修を通じてすぐに打ち解け、慶進祭などで何をするかみんなと考えたのを覚えています。

小林 初日は不安だったけど、話しかけてみるとみんな優しく、みんなと仲良くなれそうだと感じました。宿泊研修ではたくさん話して友達もできました。新入生の皆さん

は必ず友達はできるので安心してください。

Q: 卒業してから感じる慶進の魅力は。

渡邊 中高一貫なので、6年間一緒に仲間と過ごせたので、勉強、部活、遊びの全てを全力で楽しめました。6年間の「変わらない日常」それが魅力です。

永見 先生方かなと思います。勉強でわからないことがある度に質問にいったけど、その都度しっかりと教えてくださり、入試の前には何度も面接練習をしてくださったり、いつも助けてくれました。

吉中 入学した時には、はつきりとした夢はなかったけど、6年間で、自分の興味があることを探すための様々な活動があり、そこから自分の興味があることを見つけることができました。そんなことができるのが慶進の強みかなと思います。

Q: 22期生にメッセージをお願いします。

米沢 皆さんは今、期待と不安を抱いていると思います。が、6年間はあつという間です。自分の人生に繋がっていく時間になると思うから、大切に過ごしてほしいです。

渡邊 遊びも勉強も全力で取り組んで、最後には、支えてくれる家族や仲間感謝の気持ちを抱けるような時間になれるように過ごしましょう。

永見 中学校時代は、やりたいうことをやりたいだけ思いっきりやって、全力で楽しんで充実した6年間を過ごしてください。

伊藤 6年間は長いようで短いですが、勉強にも取り組みつつ、部活にも入って、先輩や後輩との絆をつくり素敵な6年間にしてください。応援しています。

令和7年度 | **大 | 学 | 合 | 格 | 実 | 績 |**

中高一貫コースの主な合格先

東京大学	4 名	東京科学大学	1 名
北海道大学	1 名	神戸大学	1 名
九州大学	3 名[1]	防衛医科大学	2 名[1]
産業医科大学	1 名[1]	山口大学	11 名[4]
鹿児島大学	1 名[1]	山口県立大学	2 名

[]は医学部医学科 令和7年3月24日現在
※詳しくはHPをご覧ください。(慶進 進路実績 で検索)

お | 知 | ら | せ |**■令和7年度 新入生募集行事予定**

5月17日(土)	オープンスクール①
6月15日(日)	慶進祭
6月21日(土)	オープンスクール②
7月12日(土)	慶進体験会
8月23日(土)	学力診断テスト
10月 4日(土)	入試説明会①
11月 8日(土)	入試説明会②

慶進でお会いするのを楽しみにしています。

La photo de Keishin



「つくってわくわく!!」 KSTEAM Room

懐かしい響きですね!この言葉を聞くと、小さいころに教育テレビの「つくってあそぼ」を夢中でマネしながら折り紙や色鉛筆を使い、自分なりのアイデアを加えたおもちゃを作った記憶がよみがえります。みなさんも似た経験はありませんか?

今、話題になっているSTEAM教育は、科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学の5つの領域を対象として、知る(探究)とつくる(創造)のサイクルを生み出す、分野横断的な学びといわれています。これがSTEAM教育なら、わたしたちは小さいころから、教育テレビを見ながら無意識にSTEAM教育をやっていたのでは?!なんて思ったりします。

2025年の中高生は折り紙や色鉛筆ではなく、iPad1台で「知る(探究)と創造(つくる)」を日々行っています。そして慶進のSTEAM教育を充実させる部屋、KSTEAM ROOMが…2025年度、なんとリニューアルオープンします!部屋に入ると左手にはグリーンバック、正面にはカメラやモニターがあり、奥の部屋には音響機器が!まさに宇宙戦艦ヤマトの cockpit のよう!!部屋に入った途端「つくってわくわく!!」が止まりません。

今後、この部屋を生徒たちがどんどん活用し、クリエイティブな作品を生み出していってくれることでしょう!

**第17回 小さな本箱**

梶山美智子先生のおすすめ

『幸せのメカニズム 実践・幸福学入門』

前野 隆司

みなさんは、「ウェルビーイング」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。SDGsの目標の一つに「Good Health and Well-Being (すべての人に健康と福祉を)」とあり、慶進中・高校の学校案内パンフレットには「・・・幸福で満たされた自分と社会(Well-being)・・・」とあります。様々な分野で使われており、私自身気になっていた言葉でした。2年前に日本で幸福学研究の第一人者である著者の前野氏の講演を聴き、その際紹介されたのが、この『幸せのメカニズム』です。幸福学という学問として多くの客観的データを基に詳細に、しかもわかりやすい説明があり、「ウェルビーイング」の入門にはぴったりの本です。

幸せの形は人によって違うと思いますが、著者によると、幸せのメカニズムは単純で、次の4つの因子が幸せの鍵ということです。

- 第1因子「やってみよう!」因子(自己実現と成長の因子)
- 第2因子「ありがとう!」因子(つながりと感謝の因子)
- 第3因子「なんとかなる!」因子(前向きと楽観の因子)
- 第4因子「あなたらしく!」因子(独立とマイペースの因子)

これらのことを簡単にまとめると、なりたい自分になるために「やってみよう」と頑張り、日々の生活の中で多くのことに「ありがとう」と感謝し、多少自己実現や人間関係がうまくいかなくても「まあ、いいや、なんとかなる」と楽観的に考え、他人と比較することなく、「あなたらしく」自分をはっきり持つということです。みんなでこの幸せの4つの因子を日々意識し、実践していけば、幸せの輪がつながっていきます。「ウェルビーイングを実現する新しい自分に向かって "Go Beyond!"」